

日本発達障害支援システム学会 2015年度 研究大会・研究セミナー

= 発表論文集 =

= 大会テーマ =

『発達障害児者の乳幼児から成人期の
社会性支援の新たな展開を創り出すために』

- 平成 27 年 12 月 6 日(日) 12:00~17:00
- 東京学芸大学 小金井キャンパス
東京都小金井市貫井北町 4-1-1

主催:日本発達障害支援システム学会
2015 年研究セミナー・研究大会実行委員会

ご挨拶

メインテーマ

「発達障害児者の乳幼児から成人期の社会性支援の新たな展開を創り出すために」

日本発達障害支援システム学会第14回（2015年度）研究大会は、東京学芸大学（東京都小金井市）で、2015年12月6日（日）に開催することになりました。

研究大会のテーマは「発達障害児者の乳幼児から成人期の社会性支援の新たな展開を創り出すために」です。

家庭、保育所・幼稚園、療育機関、学校、福祉サービス事業所（施設）、地域社会のなかで、発達障害のある子どもや成人たちは、多くの人と共に豊かな生活を営みながら、そのつながりに支えられて、遊び、学び、生活し、コミュニケーションし、働き、発達していきます。特に、社会性の発達には重要な柱であり、時代にあった支援を考え、そして新たに創り出していきたく考えました。

また、本学会の設立の際の原点に立ち返り、『教育システム』『アセスメント方法』『教育・支援プログラム』『特別支援教育に関するデータベース』の4つの研究・開発を推進することをあらためて目指したいと存じます。

実行委員会では、2つの教育講演を企画しています。

教育講演Ⅰは、『知的障害者のキャリア教育と社会性支援』を原智彦先生（東京都立青峰学園）にご講演頂きます。そして、教育講演Ⅱは、『発達障害児者の自己理解と社会性支援』を小島道生先生（筑波大学）にお話し頂きます。お二人の先生は、これまでの知的障害者のキャリア支援、発達障害児者の自己理解といった分野の先駆的研究者でもあり、今後の発達障害児者における社会性支援のあり方を見直す契機となる講演をしていただけるものと期待しております。

また、多くの皆様からの口頭発表やポスター発表によるご参加を期待しております。是非とも、実践を紹介しましょう!!

本学会では、以前より、一事例の発表、一学校の実践、一施設の取り組み、一地域の紹介、…などの‘ワンケーススタディ’を奨励しています。一事例の実践研究が、大きなシステムを産み、新たな学問をつくり、教育や福祉のシステムを支えていく契機となったことは少なくありません。倫理的な配慮や個人情報を守るなかで、‘ワンケーススタディ’をどんどん発表して下さい。大歓迎致します。

参加者の皆様がそれぞれ支援者・研究者として講演・発表に関わって頂き、活発な議論を進めてくださいますことを期待しております。

寒さ厳しい時期の開催ですが、東京でも緑多きキャンパスとして有名な東京学芸大学（小金井市）で皆様をお迎え致しますので、どうぞお越し下さい。

2015年12月

日本発達障害支援システム学会
第14回研究セミナー／研究大会準備委員会
実行委員長 橋本 創一

会場へのご案内

東京学芸大学 小金井キャンパス

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1

■最寄駅

(1) JR 武蔵小金井駅・北口より (徒歩の場合は約 20 分)

【京王バス】〔5 番バス停〕「小平団地」行に乗車、約 10 分。

⇒ 「学芸大正門」下車、徒歩約 3 分

(2) JR 国分寺駅北口より

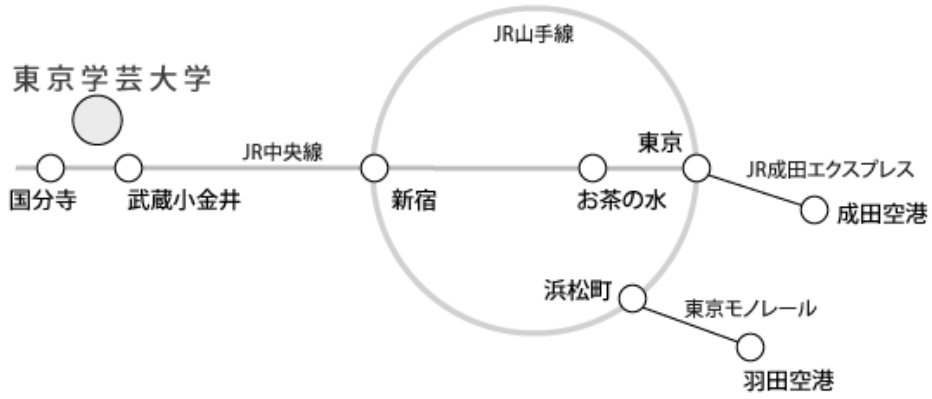
徒歩約 20 分

(JR 国分寺駅北口 → 早稲田実業学校 → 連雀通り／小金井市保健センター前)

※東急東横線「学芸大学」駅ではございませんのでご注意ください。

※国分寺駅から大学へのバスは出ておりません。

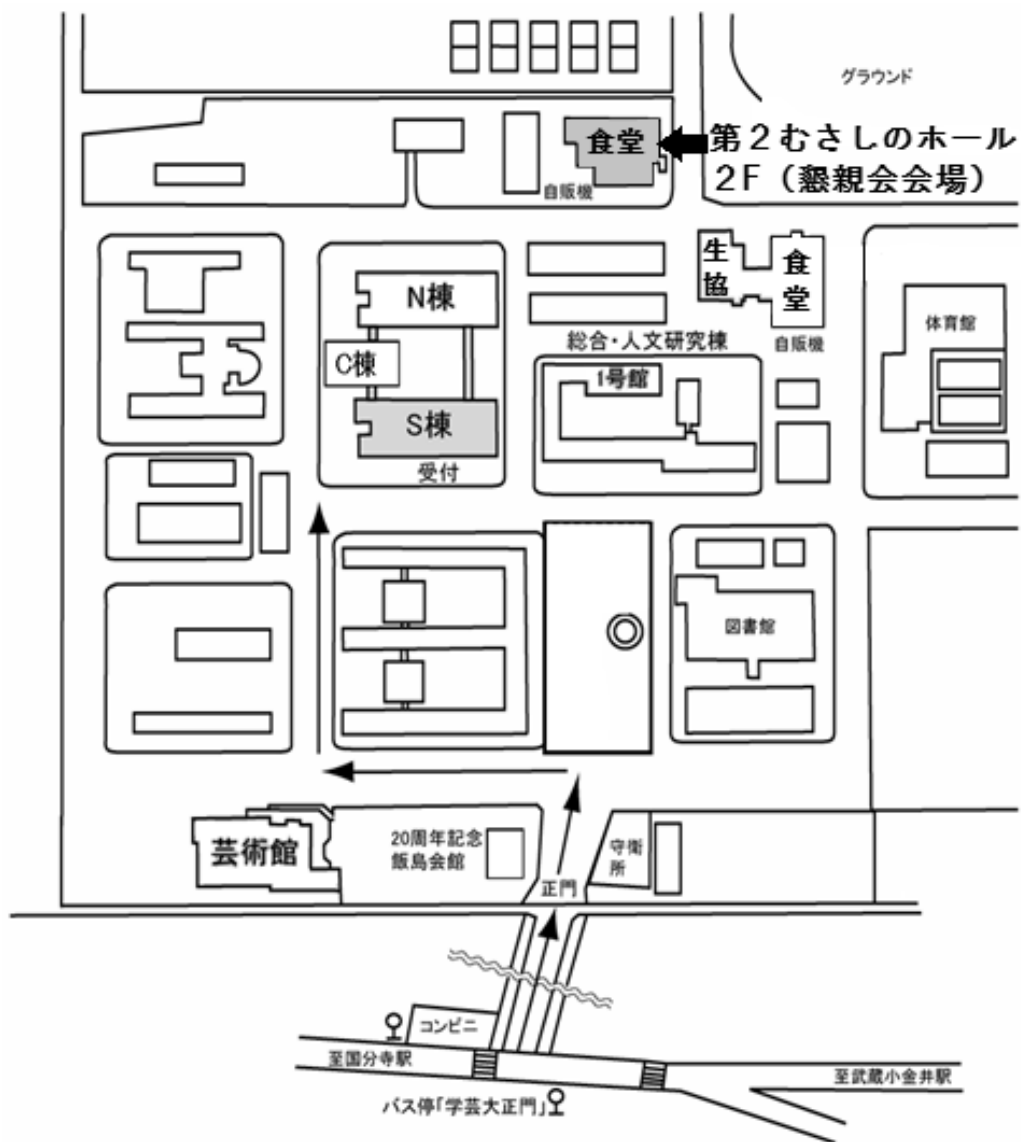
■路線図



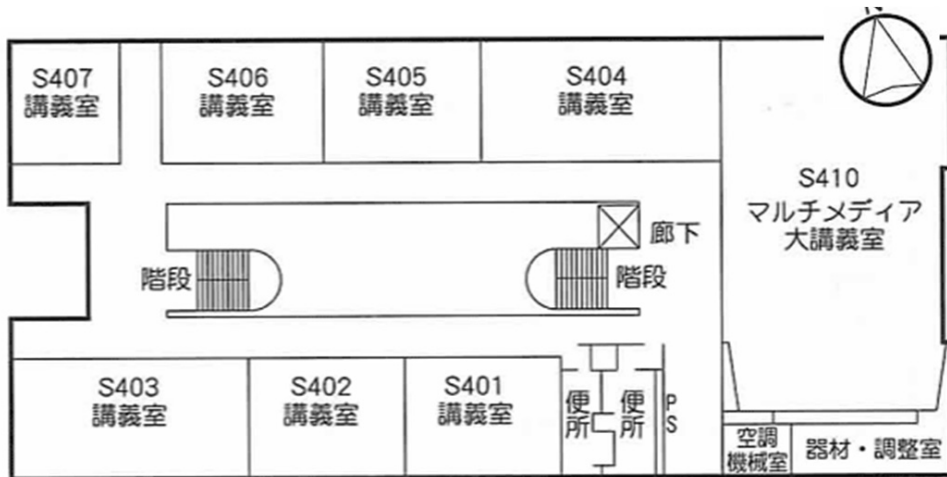
■駅からアクセス



構内案内【東京学芸大学 小金井キャンパス】



会場配置図



会場案内

受付・教育講演

講義棟(S棟)4階

- 受付 (S 410 教室前) 【12:00～】
- 教育講演 I (S 410 教室) 【12:40～13:40】
- 教育講演 II (S 410 教室) 【13:50～14:50】

口頭発表分科会会場 【15:00～17:00】

講義棟(S棟)4階

- 第1分科会 : S 410 教室[生活支援]
- 第2分科会 : S 404 教室[コミュニケーション支援]
- 第3分科会 : S 405 教室[学習支援]
- 第4分科会 : S 406 教室[キャリア教育・キャリアガイダンス]
- 第5分科会 : S 403 教室[支援システム]

ポスター発表分科会会場 【掲示 15:00～17:00】 【在席 16:00～17:00】

講義棟(S棟)4階

- ポスター発表A, B (A : S 401, B : S 402 教室)

懇親会会場 【17:30～19:00】

生協 : 第2むさしのホール2階

参加者へのご案内

I 受付

1. 大会期間中は受付でお渡しする参加章(氏名・所属を記入したもの)をお付けください。
参加章は大会参加費の受領証を兼ねています。

2. 受付場所は教育講演会場(講義棟<S棟>4階 S410 教室)前です。
受付間は 12:00 からです。

3. 参加費等は以下の通りです。

参加費：事前申込の場合 3,000 円(11/25 まで)

当日参加の場合 3,500 円

(いずれの参加費にも論文集代が含まれます。論文集は当日受付でお渡します。)

発表費：1 演題あたり 1,000 円

懇親会参加費：事前申込の場合 3,000 円(11/25 まで)

当日申込の場合 4,000 円

※事前申込の方は予め指定先にお振込み下さい
(12/1 まで)

※当日参加の方は受付でお支払いください。

	事前申込 (11/25まで)	当日参加
参加費	3,000円	3,500円
発表費	1,000円	—
懇親会費	3,000円	4,000円

II 会場関係

1. 喫煙

東京学芸大の構内では分煙措置を実施しております。

喫煙は建物外の喫煙指定場所をお願いします。

2. 駐車場

駐車スペースは限られておりますので、お車でのご越しはご遠慮ください。

III 懇親会

各分科会・ポスター発表終了後の 17:30 から生協(第2むさしのホール2階)にて行います。

懇親会は当日も参加受付をしますが、人数に限りがありますので、できるだけ事前にお申込みください。

参加費は 3,000 円です(当日参加の場合 4,000 円になります)。

IV 連絡先

会期前、会期中ともに、大会準備委員会（実施本部）への連絡は下記まで、電子メールまたはFAX(会期中を除く)でお願いします。実施本部では、常にメールチェックをおこないます。

日本発達障害支援システム学会 2015 年度大会準備委員会

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1

東京学芸大学教育実践研究支援センター内

FAX 042-329-7678

電子メール jasssdd*u-gakugei.ac.jp

(*の部分を半角の@に置き換えて送信してください)

研究発表者へのご案内

【口頭発表】

1. 発表時間

- 1) 発表時間は1発表につき15分で、質疑応答の時間3分が含まれます。
- 2) ご自身の発表時間以外は、他の分科会場やポスター会場にいらっしゃっても構いません。但し、学会場から出てしまうことはご遠慮下さい。終了時刻の17:00まではご参加頂くことが義務づけられます。
- 3) 進行係が以下のように時間経過をお知らせします。

発表開始後10分：1鈴

12分：2鈴(発表終了)

15分：3鈴(質疑応答終了・交替)

2. 発表用機器

発表にパソコンを使用する方は、発表データを USB 接続フラッシュメモリに保存し、セッション開始前までに会場にお越し下さい。パソコンは、Windows 7 (パワーポイント 2010) を用意いたします。なお、Macintosh 版データや動画などが含まれるデータは、映像に支障をきたす場合がありますので、パソコンをご持参下さい。

(プロジェクトとの接続には、標準的なミニ D-SUB15 端子 (アナログ) を使用します)。

3. 座長の方へ

- 1) 座長の方は担当セッションの司会・進行をお願い致します。特に制限時間を厳守するようにお願い致します。
- 2) 各セッションに2名の座長をお願いしています。欠席の場合には新たに座長を決定しますので、前日までに E-mail にて大会準備委員会に必ずご連絡ください。

4. 質疑・討論について

質疑や意見を述べる際には、はじめに所属・氏名を明らかにしてください。

また、30秒以内に簡潔にお願いします。その他、座長の指示に従って、セッションの進行に支障がないようにしてください。

5. その他

- 1) 座長及び発表者は、セッション開始5分前までに当該分科会場に在席してください。
- 2) 研究発表の資料は発表論文集をあてるのが原則ですが、補足資料の配布が必要な場合には、事前に発表者が必要部数を用意し、各会場の資料配布台に置いてください。

【ポスター発表】

1. 発表者は、発表時間中ポスターを掲示すると同時に指定された時間出席し、参加者と質疑応答することにより、正式発表とみなされます。
2. 発表者は、総合受付にて発表受付を済ませ、発表開始5分前までにポスターの掲示を完了してください。
3. 掲示時間は15:00～17:00、在席責任時間は16:00～17:00です。ポスターは壁またはパーテーションに掲示してください。
4. ポスター掲示範囲は横幅80cm×縦150cm以内が適当です。ポスターの最上部には、発表題目(フォントサイズ目安:72ポイント)、発表者氏名(筆頭発表者に○を付ける)、及び所属を明示してください。本文は全紙、または何枚かに分けて貼る等の方法で掲示してください。文字の大きさや図、表の作成には特に注意してください。混み入った図や表の使用を避け、2m離れたところから全体を読めるようにしてください。
5. 掲示用のセロハンテープ・押しピン等は会場内に用意してあります。
6. 当日資料を配布される方は、各自で必要部数を用意し、配布してください。個人情報との関係で、資料回収を必要とする場合は、発表者が責任をもって回収、処分してください。
7. 発表時間が終了したら、直ちにポスターを撤去してください。

大会スケジュール

12月6日(日)

会場 S棟4階	S410教室	S404教室	S405教室	S406教室	S403教室	S401教室:A S402教室:B
12:00	受付(会場前) 開会					
12:40	記念講演 I 講師 原 智彦 (東京都立青峰学園 主幹教諭)					
13:40						
13:50	記念講演 II 講師 小島 道生 (筑波大学 准教授)					
14:50						
15:00	第1分科会 生活支援 領域	第2分科会 コミュニケーション 支援領域	第3分科会 学習支援 領域	第4分科会 キャリア教育 キャリアガイダンス 領域	第5分科会 支援システム 領域	ポスター発表 分科会A・B 掲示: 15:00~17:00 発表者在席: 16:00~17:00
17:00						
17:30	懇親会 (生協:第2むさしのホール)					
19:00						

プログラム案内

＝第1部＝（会場：講義棟＜S棟＞4階 S410教室）

教育講演 I 12:40～13:40

『知的障害者のキャリア教育と社会性支援』

【講師】

原 智彦（東京都立青峰学園 主幹教諭）

【講師プロフィール】

1956年（昭和31年）長野県生まれ。長野県で中学校2校9年勤務。東京学芸大学附属養護学校、東京都立あきる野学園を経て、現在の東京都立青峰学園に勤務。特別支援学校の現場で主に進路指導を担当し、進路学習の提起や個別移行支援計画の開発と活用、地域の支援ネットワーク構築の研究に努力され、実際の取り組みに基づいて特別支援学校の進路指導を中心に長年間取り組んでいる。平成19年度には東京学芸大学大学院に派遣研修となり、過去5年間の卒業生調査を実施しまとめられた。

また、厚生労働省障害者雇用対策課の研究会である「福祉、教育等との連携による障害者の就労支援の推進に関する研究会」、「障害者の一般就労を支える人材の育成のあり方に関する研究会」、「地域の就労支援の在り方に関する研究会」の委員などもされており、各方面で幅広い講演活動や、執筆活動などをされています。

【講演等のピックアップ】

- 「特別支援学校における進路指導の現状と課題」（東京都福祉健康局主催）
- 「キャリア教育の視点から捉えた小中高の実践」（東京都立羽村特別支援学校主催）
- 2013年『キャリア教育の充実と障害者雇用のこれから』
編集執筆者（ジアース教育新社）

司会：菅野 敦（東京学芸大学教育実践研究支援センター 教授）

教育講演Ⅱ

13:50～14:50

『発達障害児者の自己理解と社会性支援』

【講師】

小島 道生（筑波大学 准教授）

【講師プロフィール】

2002年、筑波大学大学院博士課程心身障害学研究科修了。筑波大学文部科学技官、兵庫教育大学助手、長崎大学教育学部講師・准教授、岐阜大学教育学部准教授を経て、現職。博士（教育学）。学校心理士。研究分野は、発達障害心理学、発達障害心理臨床。教育相談、学校教育現場の巡回相談などを行いながら、発達障害のある児童生徒や家族、学校教育現場への支援と研究に取り組んでいる。

【主な著書】

- 2013年『発達障害のある子の「自尊感情」を育てる授業・支援アイデア』（学研）
- 2013年『ダウン症ハンドブック 改訂版』 共編著（日本文化科学社）
- 2013年『思春期・青年期発達障害者が「自分らしく」生きるための支援』共編著（金子書房）
- 2012年『人間関係でちょっと困った人&発達障害のある人のためのサポートレシピ53』共編著（福村出版）
- 2010年『障害児心理 入門』共編著（ミネルヴァ書房）
- 2010年『「自尊心」を大切にしたい高機能自閉症の理解と支援』共編著（有斐閣選書）

司会：橋本 創一（東京学芸大学教育実践研究支援センター 教授）

＝第2部＝

第1分科会 ＝生活支援領域＝(S棟 410教室)

座長：平井威(明星大学)・細川かおり(千葉大学)

- 1-1 『通園施設における発達障害児への食事マナー指導の取り組み』
鈴木美代、高橋淳子(三鷹市北野ハピネスセンターくるみ幼児園)・
菅野敦(東京学芸大学)
- 1-2 『ダウン症児の幼児期における摂食指導が就学後に及ぼす効果』
向井文枝、信田有佳里(三鷹市北野ハピネスセンターくるみ幼児園)・
菅野敦(東京学芸大学)
- 1-3 『発達障害の当事者からみた睡眠の困難と支援ニーズ』
柴田真緒(東京学芸大学特別支援教育教員養成課程)・高橋智(東京学芸大学)
- 1-4 『知的障害者のライフコースにおける恋愛・結婚の意義』
平井威(明星大学教育学部)
- 1-5 『感覚運動活動を通じた成人期重度知的障害者の触覚の過敏性に対するアプローチ』
坂口麻衣子、丸山耕太郎、矢部帆乃(社会福祉法人龍鳳)・
伊藤浩(社会福祉法人幸会)
- 1-6 『安定した生活を送るための日課づくりの工夫』
秋山清恵、荒井真、和島佑樹、若林丈仁、唐澤 啓一
(社会福祉法人武蔵野千川福祉会)・菅野敦(東京学芸大学)
- 1-7 『ライン作業における責任性の獲得に関する検討』
松本咲子、本間芽衣、深堀尚彦、伊藤浩(社会福祉法人幸会)

第2分科会 ＝コミュニケーション支援領域＝(S棟 404教室)

座長：大伴潔(東京学芸大学)・竹下洋久(社会福祉法人湘南の風えいむ)

- 2-1 『感情コントロールに困難を抱える幼児に対する就学移行支援』
披田野望(東京学芸大学教育学研究科)・
田口悦津子、井上剛、長峰美紀、仲野真史、安永啓史
(東京学芸大学附属特別支援学校)・
亀田隼人(東京都立南花畑特別支援学校)・
橋本創一、林安紀子、大伴潔(東京学芸大学教育実践研究支援センター)
- 2-2 『児童養護施設における特別支援を要する児童に対する効果的な援助の検討』
後藤武則、篠田俊一(東京都片瀬学園)
- 2-3 『特別支援学校教師が語る豊かなコミュニケーション能力』
大本美智子(広島県立呉南特別支援学校)・竹林地毅(広島大学大学院)

- 2-4 『対人トラブルを示す小学生の不応答マーチの過程に関する調査研究』
菅野希倭(東京学芸大学教育学研究科)
- 2-5 『通所施設における成人期自閉症者への構造化』
石井沙耶香、斗舛もも子、藤代渉史、山崎彰雄、佐々木涼介、黒川宗孝、
辰仁蒼一郎、竹下洋久(社会福祉法人湘南の風えいむ)
- 2-6 『成人期自閉症者に対する構造化による作業効率向上支援実践報告』
小清水翔太(社会福祉法人幸会タキオン2)
- 2-7 『サーキット活動を通じた成人期自閉症スペクトラム障害者のコミュニケーションの
改善に関する実践報告』
丸山耕太郎、坂口麻衣子、矢部帆乃、伊藤浩
(社会福祉法人龍鳳ライフパートナーこぶし)

第3分科会 =学習支援領域= S棟 405教室

座長：渡邊貴裕(順天堂大学)・林安紀子(東京学芸大学)

- 3-1 『学習障害のある生徒に対する書字指導』
河野文子(筑波大学附属桐が丘特別支援学校)・小俣敦子(東京都立青峰学園)
諏訪肇(東京都中部学校経営支援センター)
- 3-2 『訪問教育におけるタブレット端末を活用した授業実践について』
川池順也(東京都立村山特別支援学校)・橋本創一、林安紀子(東京学芸大学)・
世木秀明(千葉工業大学)
- 3-3 『病弱支援学校における学習に関わる調査』
白樫麻紀、白樫光徳、深草武志(A. S. A. 研究会)
- 3-4 『知的・発達障害児と定型発達幼児のプランニングに関する検討』
仁科いくみ(東京学芸大学教育学研究科)
- 3-5 『成人期知的障害者の問題解決方略に関する基礎的研究』
今枝史雄(東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科)・小笠原拓(株式会社ドコモCS)・
近藤拓弥、竹井卓也(東京学芸大学教育学研究科)・
烏雲畢力格(筑波大学人間総合科学研究科)・
菅野敦(東京学芸大学教育実践研究支援センター)
- 3-6 『音楽的発達評価を用いた事例研究』
大澤ちづる(東京学芸大学教育学研究科)・林安紀子(東京学芸大学)
- 3-7 『通園施設における幼児の粗大運動アセスメント』
雨宮由紀枝(日本女子体育大)・
高橋淳子、鈴木美代、山下佳恵(三鷹市健康福祉部北野ハピネスセンター)・
原寛徳(東京工芸大学)・佐藤麻衣子(日本女子体育大)・森山剛(東京工芸大学)・
小沢慎治(慶応義塾大学)

第4分科会 =キャリア教育・キャリアガイダンス領域=(S棟 406 教室)

座長：尾高邦生(東京学芸大学附属特別支援学校)・伊藤浩(社会福祉法人幸会)

- 4-1 『知的障害特別支援学校中学部における職業教育に関する一考察』
尾高邦生(東京学芸大学附属特別支援学校)・渡邊貴裕(順天堂大学)・
橋本創一、菅野敦(東京学芸大学)
- 4-2 『発達障害を有する青年の進路選択・就労移行の困難・ニーズと支援』
神長涼(東京学芸大学教育学研究科)・田部絢子(大阪体育大学)・
内藤千尋(白梅学園大学)・高橋智(東京学芸大学)
- 4-3 『進路指導におけるキャリアカウンセリングの試み』
辻村洋平(東京都立青峰学園)・南幸恵(M'sライフデザイン)・
小笠原まち子(東京都教育委員会)・諏訪肇(東京都中部学校経営支援センター)・
伴光明(東京都立青峰学園)
- 4-4 『特別支援学校における進路指導と採用選考』
小澤信幸(東京都立志村学園)・小田部恵、伴光明(東京都立青峰学園)
- 4-5 『発達障害のある中学生の適切な進路選択に向けて』
諏訪肇(東京都中部学校経営支援センター ※前東京都立青峰学園校長)
- 4-6 『主体的に働く態度を育てる作業学習の実践』
清水笛子、早田公子、三井朋美(静岡県立御殿場特別支援学校)・
菅野敦(東京学芸大学)
- 4-7 『知的障害者就労事業所における作業提供に関する検討』
和田智之(社会福祉法人武蔵野千川福祉会)

第5分科会 =支援システム領域=S棟 403 教室)

座長：爲川雄二(東北大学)・霜田浩信(群馬大学)

- 5-1 『保育士養成学校における保育内容(環境)の教育実践』
早川礎子(三幸学園千葉医療秘書こども専門学校・近畿大学豊岡短期大学)
- 5-2 『大学における発達障害学生支援と学生支援コーディネーターの役割』
池田敦子(秋田大学)・田部絢子(大阪体育大学)・高橋智(東京学芸大学)
- 5-3 『ケアの知的障害児教育の現状と支援課題』
石井智也(JICA 青年海外協力隊)・田部絢子(大阪体育大学)・高橋智(東京学芸大学)
- 5-4 『給食指導における知的障害児への合理的配慮のために』
西井孝明(三重県立稲葉特別支援学校)

- 5-5 『全国肢体不自由特別支援学校を対象としたアセスメントツールの活用状況に関する調査研究』
宮崎義成(東京都立小平特別支援学)・
仁科いくみ、菅野希倭(東京学芸大学教育学研究科)・
橋本創一(東京学芸大学教育実践研究支援センター)
- 5-6 『特別支援学校の進路指導における学校間連携の取組』
小野寺肇(東京都立中野特別支援学校)・神立佳明(東京都立あきる野学園)
- 5-7 『東京都武蔵野市における市庁舎内実習について』
照沼潤二(社会福祉法人武蔵野千川福祉会)

ポスター発表分科会 A (S棟 401 教室)

座長：堂山亞希(埼玉東萌短期大学)

- PA-1 『幼児期の発達評価に関する研究』
古島時夫、渡辺杏里(東京学芸大学教育学研究科)・林安紀子(東京学芸大学)
- PA-2 『ダウン症児の実行機能の特徴について』
竹井卓也(東京学芸大学教育学研究科)・今枝史雄(東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科)・
烏雲畢力格(筑波大学人間総合科学研究科)・菅野敦(東京学芸大学教育実践研究支援センター)
- PA-3 『小学校通常学級における書字困難の実態とその要因』
堂山亞希(埼玉東萌短期大学)
- PA-4 『自閉スペクトラム症における感覚過敏に関する研究』
ディアン・オクティアナ(群馬大学教育学研究科)・霜田浩信(群馬大学教育学部)
- PA-5 『行動コントロールの困難さはどのような特別な支援ニーズとして現れるのか』
熊谷亮(NPO 法人発達支援研究所スプラウト)・三浦巧也(大正大学)・
堂山亞希(埼玉東萌短期大学)・田口禎子(東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科)
- PA-6 『小学校通級指導教室教員による相談支援に関する調査研究』
柘千晶(東京学芸大学教育学研究科)
- PA-7 『小学校特別支援学級における知的障害児の保護者のメンタルヘルスと支援に関する調査研究』
杉岡千宏(東京学芸大学教育学研究科)

ポスター発表分科会 B (S棟 402 教室)

座長：三浦巧也(大正大学)

- PB-1 『自記式 ASIST 学校適応プロフィールを臨床場面に生かす』
三浦巧也(大正大学)・熊谷亮(東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科)・
橋本創一(東京学芸大学)
- PB-2 『地域若者サポートステーションに求められる支援と難しさ』
中村奈々(東京学芸大学教育学研究科)
- PB-3 『知的障害者の移行期に関する文献研究』
近藤拓弥(東京学芸大学教育学研究科)・菅野敦(東京学芸大学教育実践研究支援センター)
- PB-4 『衣類の整理・整頓』
金田大志、湯浅優美、鮫島留津子、前川恵理(社会福祉法人武蔵野千川福祉会)
- PB-5 『一般企業における知的障がい者社員に対する業務評価項目作成の試み』
小笠原拓、岡本孝伸、海宝健城(株式会社ドコモ CS)・菅野敦(東京学芸大学)
- PB-6 『社会スキル向上プログラムを通じた挨拶・集中力のスキル向上支援実践報告』
橋本真緒、伊藤浩(社会福祉法人幸会タキオン3)

2015 年度 研究セミナー・研究大会

大会実行委員会

- 実行委員長 橋本 創一(東京学芸大学)
- 事務局長 三浦 巧也(大正大学)
- 実行委員 伊藤 浩 (社会福祉法人 幸会)
- (五十音順) 大伴 潔 (東京学芸大学)
- 尾高 邦生(東京学芸大学附属特別支援学校)
- 川池 順也(東京都立村山特別支援学校)
- 菅野 敦 (東京学芸大学)
- 霜田 浩信(群馬大学)
- 世木 秀明(千葉工業大学)
- 爲川 雄二(東北大学)
- 林 安紀子(東京学芸大学)
- 平井 威 (明星大学)
- 細川 かおり(千葉大学)
- 横田 圭司(ながやまメンタルクリニック)
- 渡邊 貴裕(順天堂大学)
- 大会事務局 熊谷 亮 (東京学芸大学)
- 西村 裕子(日本発達障害支援システム学会事務局)

<大会会場>

東京学芸大学 小金井キャンパス
〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1
日本発達障害支援システム学会
(東京学芸大学教育実践研究支援センター内)

E-mail : office@jasssdd.org

Homepage : <http://www.jasssdd.org>